

「IPv6によるキャリアサービスの今後」

IPv6 Summit 4-1
14:30～16:00

- 小林清澄

- 西日本電信電話株式会社 技術部 技術部門

- 吉満 雅文

- KDDI株式会社 技術統轄本部プラットフォーム開発本部本部長

- 小松 直人

- 株式会社アッカ・ネットワークス WiMAX推進室 シニアエキスパート

- 赤藤 倫久

- 朝日放送株式会社 技術局 開発部

- 伊藤公祐

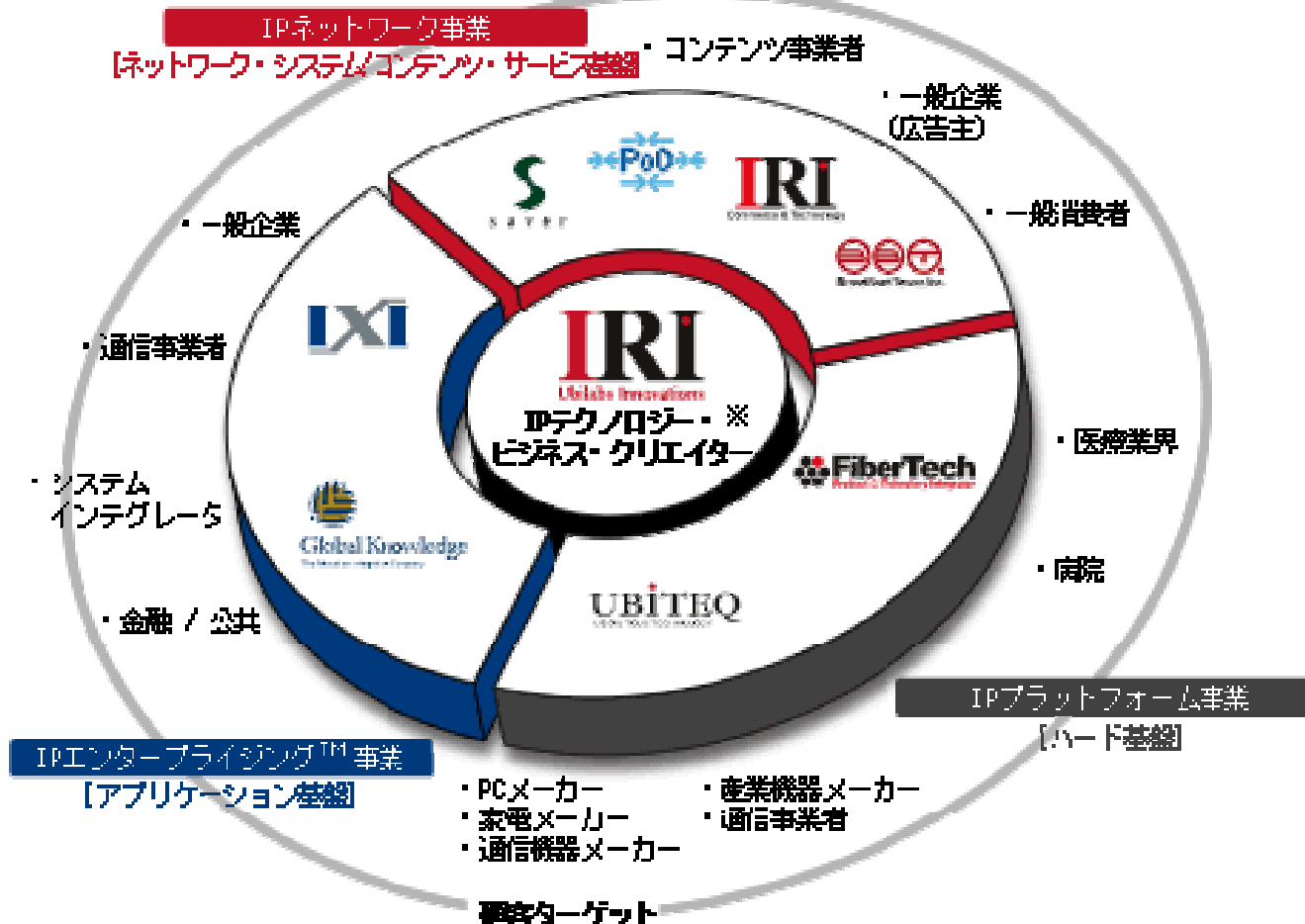
- 株式会社IRIユビテックユビキタス事業部シニアコンサルタント
IPv6普及・高度化推進協議会 基本戦略SG
IPv6 Forum WiMAX Forum担当リエゾン

背景:

- 通信事業者のネットワークインフラは、80～90年代のデジタル化や 携帯電話の本格普及に次ぐ、大変革の時期に差し掛かっている。

本セッションでは:

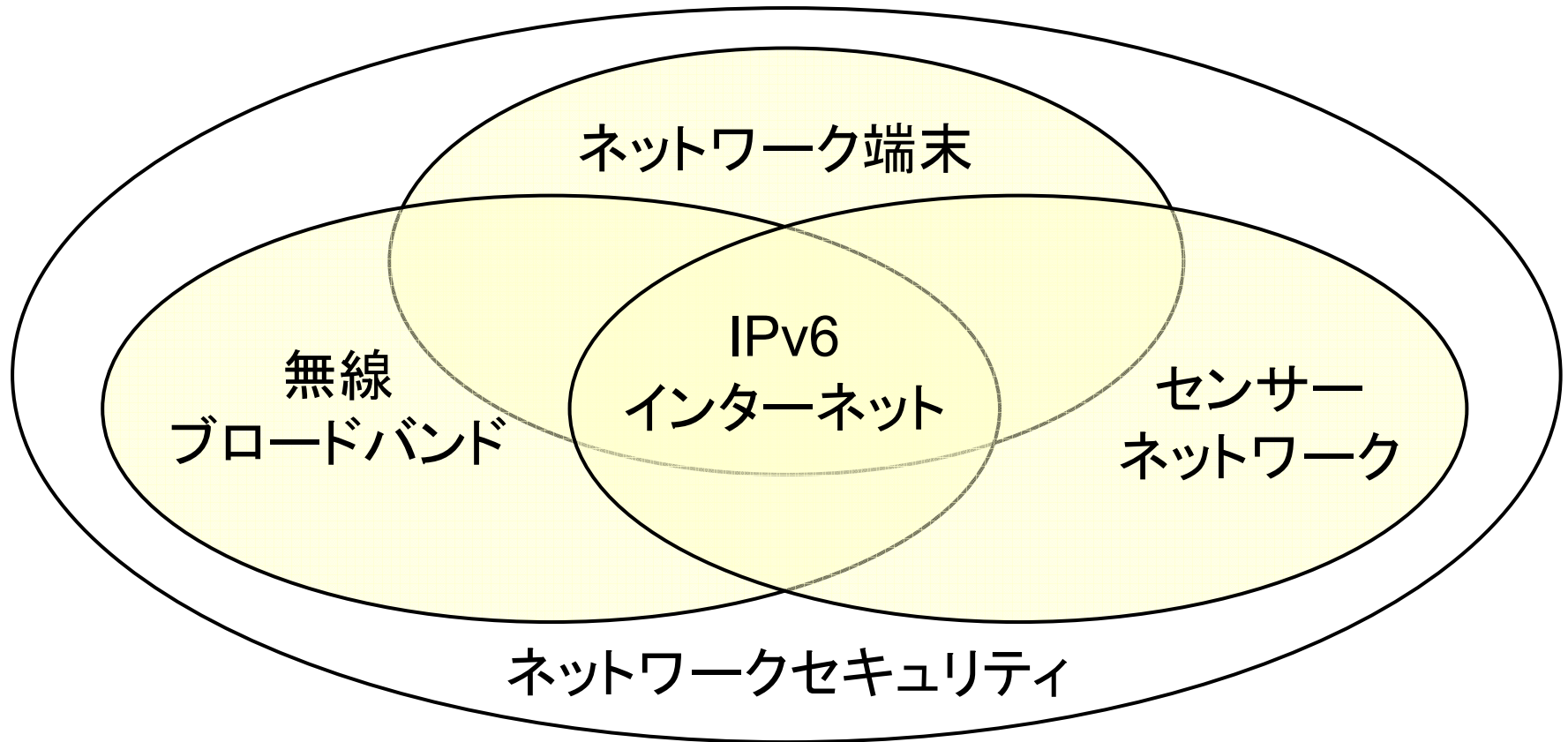
- 通信事業者の次世代サービス展開においてどのようにIPv6が有効に活用されていくのか、残されている課題は何か？
 - NGN
 - モバイルブロードバンド(WiMAXなど)
 - 映像IP再送信など



※IRI 本体の役割「IPテクノロジー・ビジネス・クリエイター」とは

- 最先端IP技術の研究開発に基づくビジネスモデルの考案
- 新規事業への投資・育成・資金化
- 新規事業の母体となる企業のM&A
- グループ企業間シナジー創出による企業価値の最大化
- グループ会社を束ねる事業主体

ユビキタスプラットフォーム



● サービス展開におけるIPv6活用について

- NTT西日本 小林様
- KDDI 吉満様
- アッカ・ネットワークス 小松様
- 朝日放送 赤藤様

- IPv6登用の理由
 - 新インフラ構築、将来のブロードバンド環境を見据えた
 - End-to-End、マルチキャスト
 - 進化するアクセス技術・サービスを追加できる統合型アーキテクチャ
 - ユーザがネットワークを無意識に使える:アップロード型サービスの登場
- IPv6移行
 - 増設・新設設備はIPv6対応
 - 可能な限りIPv6上で実装
 - 新しいネットワーク構築・モバイルネットワーク融合をIPv6で
- IPv6のメリット
 - 管理面
 - 階層化アドレッシング管理が可能
 - グローバルユニーク:ユーザのプライベートネットとのアドレス衝突回避
 - ビジネス面
 - アップロード文化を促進し、新しいサービス、アプリを創出
 - モビリティ対応
- IPv6の課題
 - デュアルサイト接続
 - 端末レベルでのIPv6アドレスハンドリング
 - マルチプレフィックス、セキュリティ、アドレス特定手法
 - 保守ツールのIPv6対応化
 - 品質保証とセキュリティ